

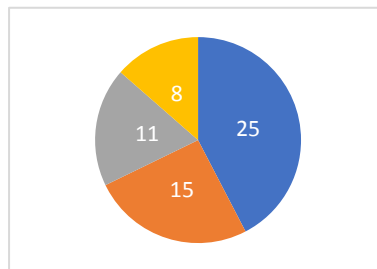
第 1 章 市民編 (回答数59)

【行動 1】

優れた自然、身近な自然の保全とふれあいの場の確保

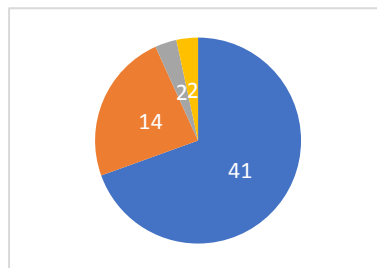
- ① 里山や山林（竹林）、川などの保全に努める。

○：できた	25 名
△：少しはできたと思う	15 名
×：あまりできなかった	11 名
－：関係ない項目、無記入	8 名



- ② 身のまわりの花や樹木などの緑を大切にする。 ※重点行動 1

○：できた	41 名
△：少しはできたと思う	14 名
×：あまりできなかった	2 名
－：関係ない項目、無記入	2 名

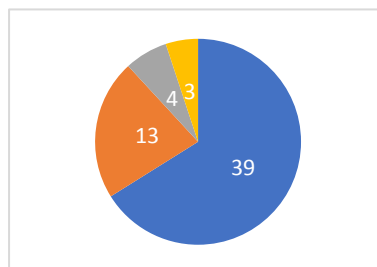


【行動 2】

動植物と共にすめる環境の維持

- ① 生き物の餌場や巣があるところにはなるべく近づかない。

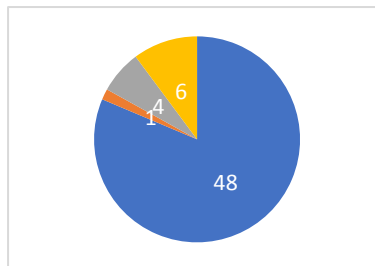
○：できた	39 名
△：少しはできたと思う	13 名
×：あまりできなかった	4 名
－：関係ない項目、無記入	3 名



平成 30 年度玉名市環境基本計画実施状況【市民・事業所編】

- ② 特定外来生物（ブラックバス、ブルーギル、ブラジルチドメグサなど本来その地域にいなかったのに人間の活動によって外国から入ってきた生物）を飼育したり、栽培したりしない。※特定外来生物を野外に放たない。

○：できた	48 名
△：少しはできたと思う	1 名
×：あまりできなかった	4 名
－：関係ない項目、無記入	6 名

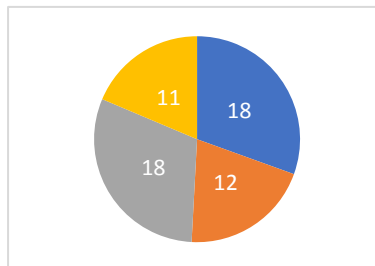


【行動 3】

豊かな湧水の保全と適正利用 ※主に湧水池周辺の住民の方

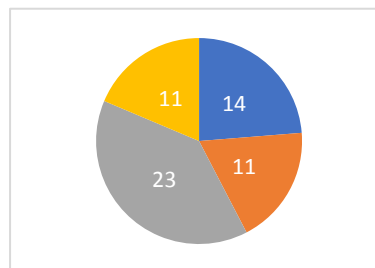
- ① 遊水地周辺の定期的な清掃美化に協力する。

○：できた	18 名
△：少しはできたと思う	12 名
×：あまりできなかった	18 名
－：関係ない項目、無記入	11 名



- ② 遊水地の由来や地域とのかかわりを後世に伝える。

○：できた	14 名
△：少しはできたと思う	11 名
×：あまりできなかった	23 名
－：関係ない項目、無記入	11 名

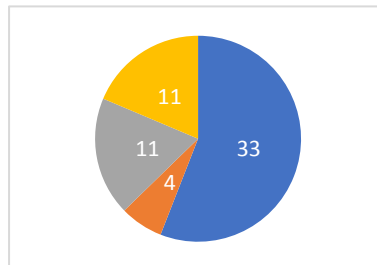


【行動 4】

菊池川等の河川と有明海の水質保全 ※重点行動 2

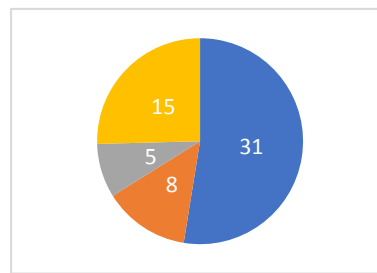
- ① 公共下水道や農業集落排水へ接続し、これらが普及していない地域では、合併処理浄化槽を設置する。

○：できた	33 名
△：少しはできたと思う	4 名
×：あまりできなかった	11 名
－：関係ない項目、無記入	11 名



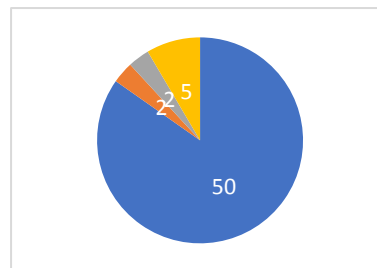
- ② 浄化槽の法定検査や、保守点検、清掃を委託し、適正な定期的管理に努める。

○：できた	31 名
△：少しはできたと思う	8 名
×：あまりできなかった	5 名
－：関係ない項目、無記入	15 名



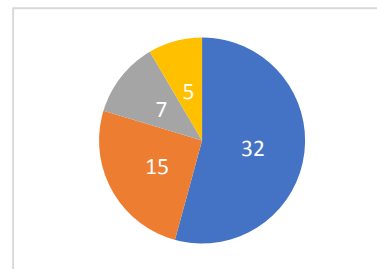
- ③ 調理くずやてんぷら油を排水に流さない。

○：できた	50 名
△：少しはできたと思う	2 名
×：あまりできなかった	2 名
－：関係ない項目、無記入	5 名



- ④ てんぷら油は、石けんや燃料化などに再利用するための回収に協力する。

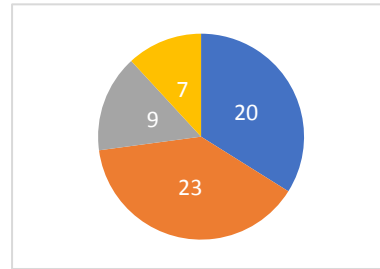
○：できた	32 名
△：少しはできたと思う	15 名
×：あまりできなかった	7 名
－：関係ない項目、無記入	5 名



平成 30 年度玉名市環境基本計画実施状況【市民・事業所編】

- ⑤ 合成洗剤の使用を抑える工夫をする。

○：できた	20 名
△：少しはできたと思う	23 名
×：あまりできなかった	9 名
－：関係ない項目、無記入	7 名

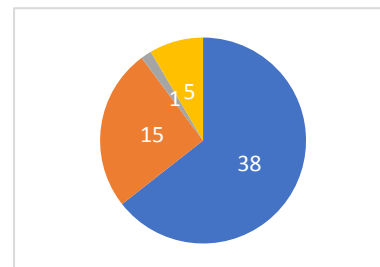


【行動 5】

ごみの適正処理の推進 ※重点行動 3

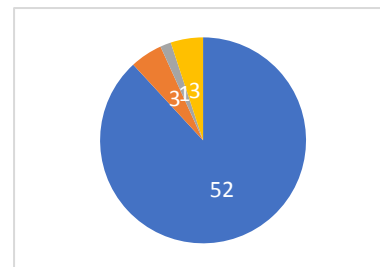
- ① ごみの減量化に努める。

○：できた	38 名
△：少しはできたと思う	15 名
×：あまりできなかった	1 名
－：関係ない項目、無記入	5 名



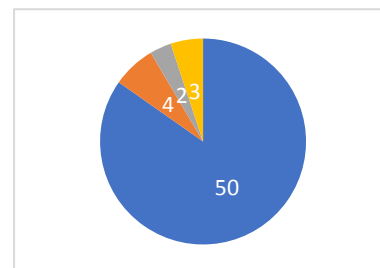
- ② ごみ収集に関するルール（分別、指定袋の使用、行政区・氏名の記入など）を守る。

○：できた	52 名
△：少しはできたと思う	3 名
×：あまりできなかった	1 名
－：関係ない項目、無記入	3 名



- ③ 不法投棄は絶対にしない。（たばこや空き缶等のポイ捨てもしない）

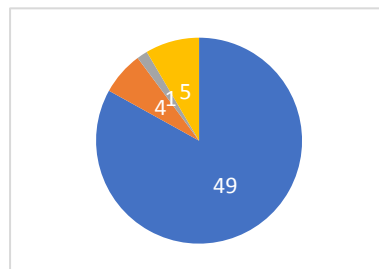
○：できた	50 名
△：少しはできたと思う	4 名
×：あまりできなかった	2 名
－：関係ない項目、無記入	3 名



平成 30 年度玉名市環境基本計画実施状況【市民・事業所編】

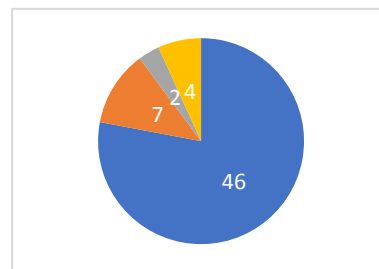
- ④ 廃家電製品は販売店等に適切に処理を委託する。

○：できた	49名
△：少しはできたと思う	4名
×：あまりできなかった	1名
－：関係ない項目、無記入	5名



- ⑤ ごみの屋外焼却をしない。

○：できた	46名
△：少しはできたと思う	7名
×：あまりできなかった	2名
－：関係ない項目、無記入	4名

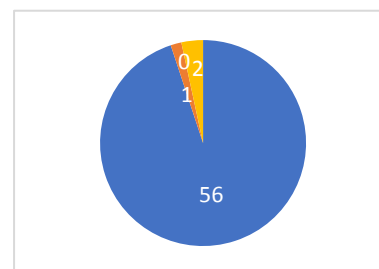


【行動6】

資源を大切にす

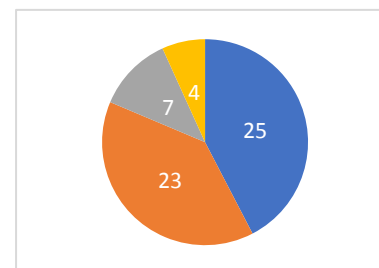
- ① ごみ収集に関するルール（分別、指定袋の使用、行政区・氏名の記入など）を守る。**※再掲**

○：できた	56名
△：少しはできたと思う	1名
×：あまりできなかった	0名
－：関係ない項目、無記入	2名



- ② レジ袋や過剰包装を断り、マイバッグを利用する。

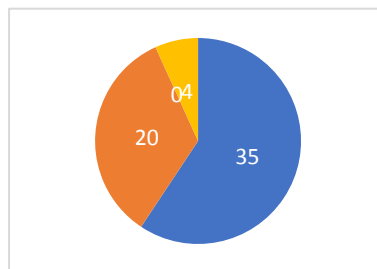
○：できた	25名
△：少しはできたと思う	23名
×：あまりできなかった	7名
－：関係ない項目、無記入	4名



平成 30 年度玉名市環境基本計画実施状況【市民・事業所編】

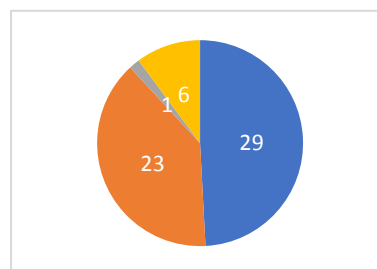
③ 無駄なものは買わない、再使用するもの等、ものを大切に、ごみを減らす。

○：できた	35名
△：少しはできたと思う	20名
×：あまりできなかった	0名
－：関係ない項目、無記入	4名



④ 古紙 100%のトイレットペーパーやエコマーク製品等の環境に配慮した製品やリサイクル製品を購入・使用する。

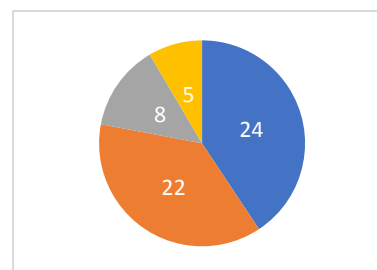
○：できた	29名
△：少しはできたと思う	23名
×：あまりできなかった	1名
－：関係ない項目、無記入	6名



⑤ 節水行動の習慣化を図る。

- ・ 雨水をためて庭の水やり等に使用
- ・ バケツを利用した洗車
- ・ 水を流したままの歯磨きやシャワー禁止

○：できた	24名
△：少しはできたと思う	22名
×：あまりできなかった	8名
－：関係ない項目、無記入	5名

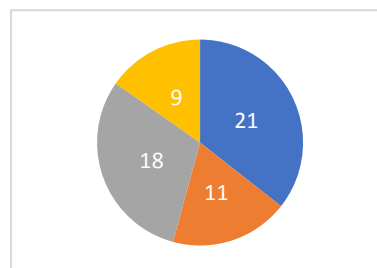


【行動 7】

地球環境問題への対応（温暖化対策・生活習慣の改善）

① 太陽光発電などのクリーンエネルギーを積極的に利用する。

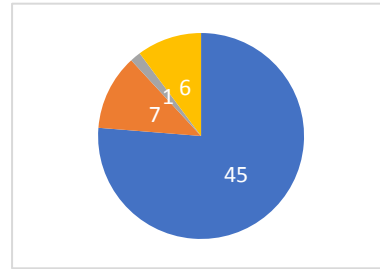
○：できた	21名
△：少しはできたと思う	11名
×：あまりできなかった	18名
－：関係ない項目、無記入	9名



平成 30 年度玉名市環境基本計画実施状況【市民・事業所編】

- ② 家電製品買い替え時には、LED 照明への取り換えや省エネ型エアコンの採用など、省エネ型を購入する。

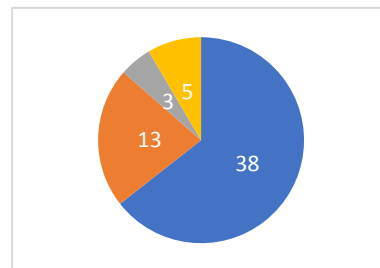
○：できた	45 名
△：少しはできたと思う	7 名
×：あまりできなかった	1 名
－：関係ない項目、無記入	6 名



- ③ 省エネ生活を実践する。

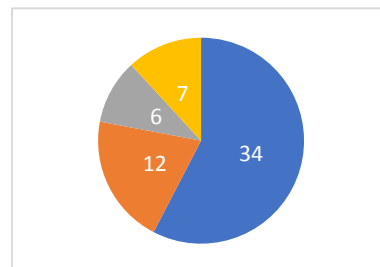
- ・見ていないテレビや照明など家電製品はこまめに電源を切る。
- ・暖房、冷房は控えめに使用する。
- ・出かける際は、家電製品の主電源を切り、待機電力の消費を抑える。
- ・家にいる時は、家族がなるべく同じ部屋で過ごす。

○：できた	38 名
△：少しはできたと思う	13 名
×：あまりできなかった	3 名
－：関係ない項目、無記入	5 名



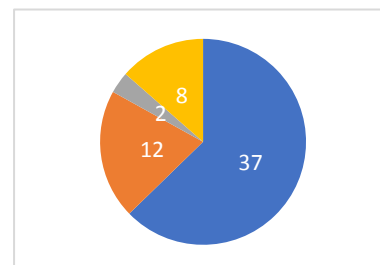
- ④ 低燃費車の購入、使用を心がける。

○：できた	34 名
△：少しはできたと思う	12 名
×：あまりできなかった	6 名
－：関係ない項目、無記入	7 名



- ⑤ アイドリングや急加速をしない等、エコドライブを徹底する。

○：できた	37 名
△：少しはできたと思う	12 名
×：あまりできなかった	2 名
－：関係ない項目、無記入	8 名

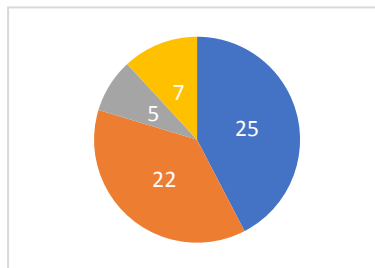


【行動 8】

環境保全活動への自主的な取り組みの推進

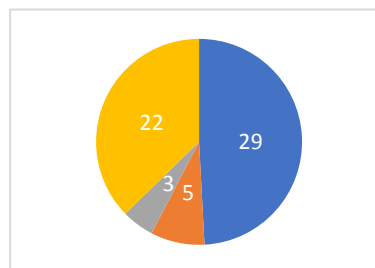
- ① 環境活動や環境に関する学習、教育、講座、美化活動に積極的に参加、協力する。

○：できた	25 名
△：少しはできたと思う	22 名
×：あまりできなかった	5 名
－：関係ない項目、無記入	7 名



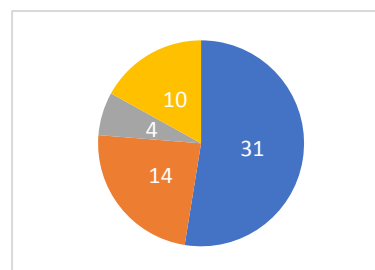
- ② ペットのふんはきちんと持ち帰る。

○：できた	29 名
△：少しはできたと思う	5 名
×：あまりできなかった	3 名
－：関係ない項目、無記入	22 名



- ③ 土地所有者は空き地等を適切に管理する。

○：できた	31 名
△：少しはできたと思う	14 名
×：あまりできなかった	4 名
－：関係ない項目、無記入	10 名



集計結果まとめ（環境応援団「エコの環たまな」）

行動 1 の、優れた自然、身近な自然の保全とふれあいの場の確保 については、8 割程度の方が出来たと回答しています。特に、重点行動 1 の“身のまわりの花や樹木などの緑を大切にする”については、9 割を超える方ができたと回答していることから、自然の保全については意識が高いとすることができるのではないかと考えます。

平成 30 年度玉名市環境基本計画実施状況【市民・事業所編】

行動 2 の、動植物と共にすめる環境の維持 については、2 つの設問ともに 9 割を超える方が出来たと回答しています。動植物との共生についても、広報やポスターなどで特定外来生物についての生態を知る機会が増えていることから、市民の意識や知識が高まっていることがうかがえます。

行動 3 の、豊かな湧水を保全と適正利用 については、6 割程度の方が定期的な環境美化に協力していることから、水資源の保全についての意識は高まっていると考えます。半面、後世に伝えることについてはアンケート結果の割合が年を追うごとに減ってきているため、伝える機会があまりないことと、必要性を感じていないことが原因なのではないかと推測されます。

行動 4 の、菊池川等の河川と有明海の水質保全 については、昨年引き続きてんぷら油を排水に流された方が 2 名という結果に加え、回収に協力すると回答された方が大幅に増えており、てんぷら油は河川に流すと環境が破壊されることと、回収されると BDF となるということが周知され市民の認識が進んだことが大きいのではないかと考えます。熊本県が推進する熊本県ストップ温暖化県民総ぐるみ運動推進会議の中で実施された排てんぷら油の回収運動も、市民への周知の一因となっていると考えます。

行動 5 の、ごみの適正処理の推進 についても、昨年同様、9 割以上の方がゴミの減量化、分別ルール徹底、ごみの処分方法等についてルールを守って処理していることが分かります。ゴミ袋の有料化から 20 年以上が経っていますので、分別や減量、処分方法についても当然のこととして行動していることがうかがえます。ゴミの屋外焼却についても、年々割合が減ってきていることから、して当然の事として認識されていたことが、してはならないことだという認識に変わってきていることを感じます。

行動 6 の、資源を大切にす については、マイバッグ利用と節水については、若干できなかったと回答した方がいましたが、概ねできているという印象でした。レジ袋有料化も始まりますので、各家庭で意識を共有していると考えます。

行動 7 の、地球環境問題への対応（温暖化対策・生活習慣の改善） については、省エネ省電力低燃費など、エコな暮らし方を選択する方が増えてきている結果、生活習慣が改善されているのではないかと感じます。

平成 30 年度玉名市環境基本計画実施状況【市民・事業所編】

行動 8 の、環境保全活動への自主的な取り組みの推進 については、環境活動や美化活動への参加が依然と比較して格段に取り組んでいる方が多くなってきている事が分かります。SDG s の普及啓発や各地でのセミナーの開催など、参加しやすい環境が整ってきている事が推測されます。

以上、8つの項目を総合的に判断すると、どの項目を見てもアンケート開始当初の5年前と比較して、格段に市民の意識レベルが上がっている事が感じ取られます。地球規模での環境保全活動、ひいては温暖化防止の取り組みや普及啓発が市民生活に浸透してきている結果と考えられます。

以上をふまえ、私たち市民環境団体の役割としては、様々な環境保全に関する知識や見識を取り入れて普及啓発、情報発信をすること、そして何より率先して行動することが求められると考えています。

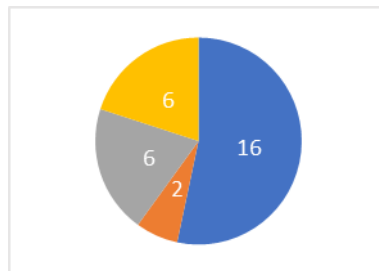
第 2 章 事業所編 (回答数30)

【行動 1】

地下水の保全

- ① 地下水の採水メーターを設置して使用量を管理し、適切な使用に努める。

○：できた	16名
△：少しはできたと思う	2名
×：あまりできなかった	6名
－：関係ない項目、無記入	6名

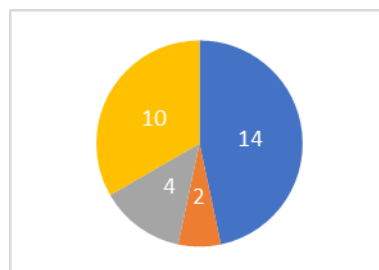


【行動 2】

届け出や基準の遵守 ※重点行動 1

- ① ばい煙発生施設や騒音、振動発生施設等について、必要な届け出や許可手続きを適切に行う。

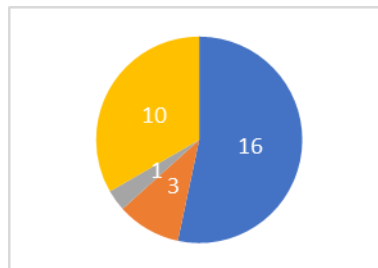
○：できた	14名
△：少しはできたと思う	2名
×：あまりできなかった	4名
－：関係ない項目、無記入	10名



平成 30 年度玉名市環境基本計画実施状況【市民・事業所編】

② 環境に関する基準を遵守する。

○：できた	16 名
△：少しはできたと思う	3 名
×：あまりできなかった	1 名
－：関係ない項目、無記入	10 名

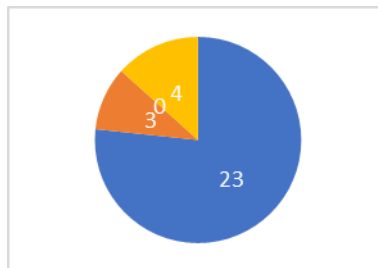


【行動 3】

産業廃棄物の適正処理 ※重点行動 2

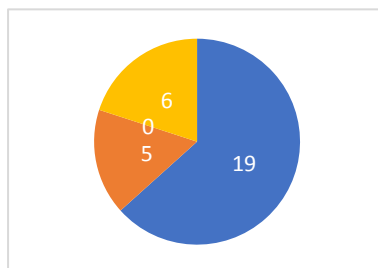
① 産業廃棄物は処理業者に委託する等して適正に処理する。

○：できた	23 名
△：少しはできたと思う	3 名
×：あまりできなかった	0 名
－：関係ない項目、無記入	4 名



② 空地、未利用地等への不法投棄を防止するため、所有地を適正に管理する。

○：できた	19 名
△：少しはできたと思う	5 名
×：あまりできなかった	0 名
－：関係ない項目、無記入	6 名

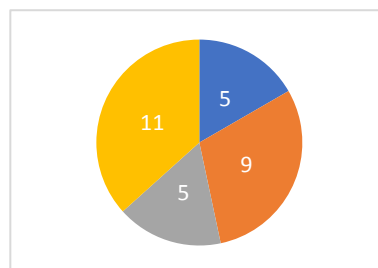


【行動 4】

環境に配慮した経営の推進

① 環境マネジメントシステム (ISO14001、エコアクション 21 等) を構築、運用し、経営の合理化と環境保全の取り組みを計画的に実施する。

○：できた	5 名
△：少しはできたと思う	9 名
×：あまりできなかった	5 名
－：関係ない項目、無記入	11 名



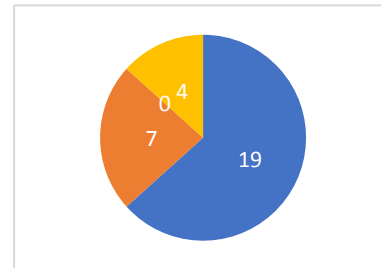
平成 30 年度玉名市環境基本計画実施状況【市民・事業所編】

【行動 5】

市民との協働による環境への取り組み ※重点行動 3

① 市民との協働、市民活動への協力等により地域社会の環境整備と保全を図る。

○：できた	19 名
△：少しはできたと思う	7 名
×：あまりできなかった	0 名
－：関係ない項目、無記入	4 名



集計結果まとめ（環境応援団「エコの環たまな」）

回答内容から、廃棄物処理、所有地の管理、市民との協働についてはほとんどの事業所が積極的に取り組んでいる事がうかがえます。他方、地下水の保全や施設の届出、環境経営については、1/4の事業所があまりできなかったと回答しており、一部事業所では意識の改善が必要と思われますが、今後はSDGsの広がりにより、事業所が率先して環境保全活動に取り組むことが必須となるのではないかと推測されますので、自ずと意識は高まるのではないかと考えます。